

12月7日 誠真会館 合同審査会 合否結果

審査内容

氏 名	基本手技	基本蹴り技	移動手技	移動足技	型	組手	補強	合・否	コメント
幼・少年部									
瀬田 慶	9	9	9	9	8		△	黄帯合格	全体的に力強い動作がよいです。技の構えが甘いので内羽立ち・前屈立ちをしっかりと手本通りに出来るようにがんばろう。型は、間違えずに出来ておりました。下段払いや顔の振り向きなどもしっかりと出来るように稽古していきましょう。
塚本 亮	8	8	9	8	8		◎	黄帯合格	蹴りの高さが低いので、どの蹴り技もしっかりと上げられるように、稽古していきましょう。技は間違いがないので、精度を上げていく努力をがんばっていきましょう。
古溝 紗楽	9	9	6	7	8		△	保留	基本稽古の力強い技がよいです。移動稽古で逆突きの移動稽古に間違いがありましたので道場内で12月中に再審査致します。蹴り技の前蹴上げと前蹴りが曖昧なところがありますが、今回はよしとします。
山口 朝陽	10	10	9	10	9		○	黄帯合格	すべてしっかりと出来ていました。前屈立ちが前傾になるので体軸を真っすぐに出来るとよいです。型も同様で前傾姿勢を直せるとよいです。力強さがあるので、稽古を続けて試合もがんばりましょう。
川畑 史弥	10	9	10	9	10		○	黄帯合格	全体的にしっかりと出来ていました。蹴り技の足の高さが足りてない箇所がありました。足を腰よりも上げる自主練を取り入れると組手でも足技が出やすくなり高さもできるようになります。
五十嵐 二葉	8	9	9	8	9	10	◎	赤帯合格	基本稽古の手技での膝でリズムを取ってしまうところを修正しましょう。力強さがよい分、体や頭が振られてしまうので軸をしっかり保つ意識もあげましょう。組手では、突きから内股の崩しから回し蹴りなど、繋ぎが素晴らしかったです。
福島 慎士	10	9	10	9	9	9	○	赤帯合格	全体的にしっかりと出来ていました。蹴り技時に頭の前後があるのでそこを修正できるということです。蹴り技は高さもほしいですが、いきなり高さだけ意識するとバランスがおかしくなるので、自主練で蹴り上げをやり込めると変わります。組手では積極性がないので、自分から攻める努力をしましょう。
■ 赤帯以上から、審査基準が厳しくなります。									
福島 さくら	10	10	10	10	10	9	◎	青帯合格	基本・移動・型とも技の精度・キレスピードがよい。組手において、技の当てる箇所が少し雑なのがあったいないので、しっかり足や腹に当てる意識を上げられるとよい。

塚本 慶	9	9	7	9	9	8	◎	青帯合格	上段系の蹴り技が高さがあり、蹴り分けもしっかり出来ている。基本稽古では受けの角度が甘いところがあるのでしっかりと調整出来るとよい。組手では、正面から入りすぎて相手の技をもらってしまう場面が多いのでかわす・外す・回るが出来るとよい。
小俣 春翔	10	9	10	10	9	9	○	紫帯合格	全体的に力強くキレスピードがあり、しっかり出来ておりました。立ち方も腰を落とす意識も高く集中力も素晴らしいです。移動稽古のときの後ろ足のめくれがありましたので、足全体で踏ん張れるといいです。足を上げようとすると軸の崩れがあるので普段の稽古から体の軸の意識も上げられるといいです。
関口 奨	10	9	8	7	6	8	○	保留	突き技など、上半身の動きはしっかり出来てます。立ち方が甘いところが多く前屈立ちと後屈立ちが高いです。型は、間違いはないですが立ち方が高いのでしっかり腰を落とせるように稽古しましょう。型の再審査を12月中に致します。
一般部									

※補強審査は、一般は黄帯以上から、幼・少年部は、オレンジ帯以上から審査結果に影響致します。
※6点以下は、一つでもあれば不合格もしくは、保留になります。